

第 2 学年 前期 理科 評価・評定資料

学習単元・内容	つけてほしい力 (到達目標)
<p>※ ダイコンの観察-科学の目で見る-</p> <p>1 化学変化と原子・分子</p> <p>1章 物質の成り立ち</p> <p>4章 さまざまな化学変化</p> <p>5章 化学変化と物質の質量</p> <p>※ もしも原子が見えたなら</p> <p>※ 燃焼</p> <p>2 動物のくらしやなかまと生物の変遷</p> <p>4章 動物のなかまと生物の進化</p> <p>※ 生物と種</p> <p>※ 背骨のある動物たち</p>	<p>○科学的な見方・考え方について理解しよう。</p> <p>○原子論的な考え方を理解しよう。</p> <p>○物質は原子・分子からできていることを理解しよう。</p> <p>○原子記号を覚えるとともに、物質を記号で表すことができるようになるろう。</p> <p>○炭酸水素ナトリウムなどを熱すると、もとの物質とは変化して2種類以上の物質になることを確かめよう。</p> <p>○水の電気分解によって水素と酸素が発生することを確かめよう。</p> <p>○物質と酸素が結びつくことを、原子・分子のイメージを描きながら理解しよう。</p> <p>○酸素と結びついた物質を酸化物と呼び、性質が変わることを理解しよう。</p> <p>○物質が結びついたときに結びついた物質を化学式で表すことができるようになるろう。</p> <p>○分解・化合などの化学変化を化学反応式で表し説明できるようになるろう。</p> <p>○酸化物から酸素を取り除くことができるかどうかを確かめよう。</p> <p>○いろいろな化学反応には、熱を発生したり、吸収したりする反応があることを理解しよう。</p> <p>○生物の種とは何か、理解しよう。</p> <p>○進化についてのダーウィンの研究から科学的な考え方を学ぼう。</p> <p>○肉食動物と草食動物で刺激の受け取り方反応の仕方に違いがあることを知ろう。</p> <p>○脊椎動物、無脊椎動物の違いを知り、共通点や違いにより仲間分けができるようになるろう。</p>

評価・評定について				
評価の観点	興味・関心 意欲・態度	科学的な思考	観察・実験の 技能・表現	原理・法則の 知識・理解
評定に対する 観点の割合 (%)				
評価事項	定期テスト 提出物 授業への取り組み	定期テスト 授業での取り組み	定期テスト 実験レポート	定期テスト

評定	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
人数										

第 2 学年 後期12月 理 科 評価・評定 計画

学習単元・内容	つけてほしい力（到達目標）
1章 生物の体をつくる細胞 2章 生命を維持するはたらき 3章 感覚と運動のしくみ 4 地球の大気と天気の変化 1章 空気中の水の変化 2章 大気の動きと天気の変化 3章 大気の動きと日本の四季 3 電流 1章 電流の性質 2章 電流の正体 3章 電流と磁界 ※ 自由電子が見えたなら ※ ものとその電気 ※ 電流と磁石	○生物の体のつくりと細胞の関係を理解しよう。 ○細胞のつくり注目して観察しよう。 ○植物の細胞と動物の細胞のつくりの違いに注目しよう。 ○体細胞分裂と成長の過程が説明できるようにしよう。 ○動物の刺激の伝わり方を理解し、刺激に対する反応の仕方について理解する。 ○消化と吸収の仕組みを知り、エネルギー循環について知る。 ○消化液の働きを知るとともに吸収の仕方を知る。吸収した栄養分をエネルギーに変える仕方を理解しよう。 ○いろいろな気象情報がどのように利用されているか理解する。 ○気象観測の仕方を身につけ、気象要素どおしの関連を理解する。 ○霧や露のできかたと気温・飽和水蒸気量との関係で理解できる。 ○気圧が下がることにより雲ができる原理を理解できる。 ○気団と前線の関係を説明できる。 ○前線の種類と前線通過に伴う天気の変化について説明できる。 ○地球全体の大気の動きと日本にやってくる気団と天気の関係を説明できる。 ○数日間の天気図から数日の天気の前報ができることを理解する。 ○静電気について知り、放電などの実験を通して静電気と電流との関係について理解する。 ○直列や並列回路について知り、回路図が書けるようにする。 ○直列・並列回路で電流がどのようになるのかが理解できる。 ○直列・並列回路で電圧がどのようになるのかが理解できる。 ○オームの法則を理解する。 ○並列と直列で全体抵抗がどうなるか理解できる。 ○電流による発熱や発光がどのような条件で変わるのかが理解する。 ○磁界を磁力線で表せ、磁石や電流の周りでの磁界の向きが

評価・評定について				
評価の観点	興味・関心 意欲・態度	科学的な思考	観察・実験の 技能・表現	原理・法則の 知識・理解
評定に対する 観点の割合 (%)	25%	25%	25%	25%
評価事項	定期テスト 提出物 授業への取り組み	定期テスト 授業での取り組み	定期テスト 実験レポート	定期テスト

学習単元・内容	つけてほしい力（到達目標）
1章 生物の体をつくる細胞 2章 生命を維持するはたらき 3章 感覚と運動のしくみ 4 地球の大気と天気の変化 1章 空気中の水の変化 2章 大気の動きと天気の変化 3章 大気の動きと日本の四季 3 電流 1章 電流の性質 2章 電流の正体 3章 電流と磁界 ※ 自由電子が見えたなら ※ ものとその電気 ※ 電流と磁石	○動物の刺激の伝わり方を理解し、刺激に対する反応の仕方について理解する。 ○消化と吸収の仕組みを知り、エネルギー循環について知る。 ○消化液の働きを知るとともに吸収の仕方を知る。吸収した栄養分をエネルギーに変える仕方を理解しよう。 ○いろいろな気象情報がどのように利用されているか理解する。 ○気象観測の仕方を身につけ、気象要素どおしの関連を理解する。 ○霧や露のできかたと気温・飽和水蒸気量との関係で理解できる。 ○気圧が下がることにより雲ができる原理を理解できる。 ○気団と前線の関係を説明できる。 ○前線の種類と前線通過に伴う天気の変化について説明できる。 ○地球全体の大気の動きと日本にやってくる気団と天気の関係を説明できる。 ○数日間の天気図から数日の天気の前報ができることを理解する。 ○静電気について知り、放電などの実験を通して静電気と電流との関係について理解する。 ○直列や並列回路について知り、回路図が書けるようにする。 ○直列・並列回路で電流がどのようになるのかが理解できる。 ○直列・並列回路で電圧がどのようになるのかが理解できる。 ○オームの法則を理解する。 ○並列と直列で全体抵抗がどうなるか理解できる。 ○電流による発熱や発光がどのような条件で変わるのかが理解する。 ○磁界を磁力線で表せ、磁石や電流の周りでの磁界の向きが理解できる。 ○磁界の中で電流を流すと力が働くことを理解し、モーターの原理が分かる。 ○コイルの周りの磁界が変化することで電流が発生することが理解できる。

評価・評定について				
評価の観点	興味・関心 意欲・態度	科学的な思考	観察・実験の 技能・表現	原理・法則の 知識・理解
評定に対する 観点の割合 (%)				
評価事項	定期テスト 提出物 授業への取り組み 単元テスト	定期テスト 提出物 授業での取り組み 単元テスト	定期テスト 提出物 単元テスト	定期テスト 提出物 単元テスト

評定	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
人数										